

道内向け サイレージ用トウモロコシ ネオデント・ニューデントシリーズのご紹介

はじめに

昨年の北海道のトウモロコシの生育を振り返ると5月の気温が例年より低く推移したため発芽が心配でした。6月上旬以降の気温は平年並以上に推移し絹糸抽出期はほぼ平年並みで、8月～9月の気温が平年より高く推移したため登熟が進み、雌穂収量を中心に平年に比べ多収になりました。

平年に比べ収量は多収でしたが、昨年は7月下旬に台風7号が北海道の東を通過したため、倒伏の被害が一部地域で発生しています。この時期のトウモロコシは出穂前後で根が充分発達していないためコロビ型倒伏が発生し、出穂している個体も着雌穂高から上部で折損が発生し、雌穂不稔の発生にも繋がります。また9月上旬にも台風14号が上陸していますが、この台風により道央・道東地方で倒伏が発生しています。9月に入ってから倒伏は、出穂前後の倒伏と違い再び回復することは難しく、その後の登熟も進まないため雌穂収量は低収になり、土砂がついた材料をサイレージに詰めることとなります。

このように近年は台風の上陸する回数が増え、

倒伏がトウモロコシに最も被害を与える要因になってきました。品種選定には早晩性はもちろん収量性や耐病性も重要な要素ですが、最近の気象状況を考慮すると「耐倒伏性」が、良質なサイレージを確保するためには最も重要な要素と思われます。

今回も、耐倒伏性に優れた品種を中心に、当社の販売品種を紹介します。今春の品種選定に役立てば幸いです。

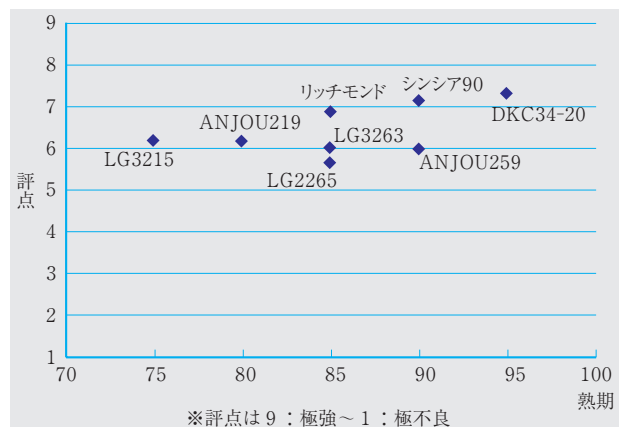
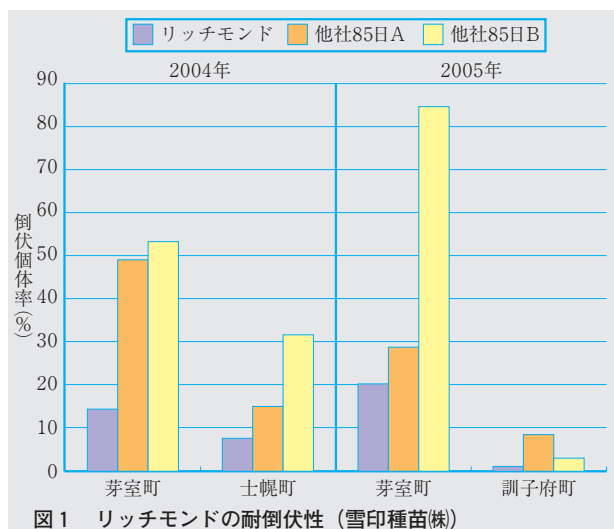
◎耐倒伏性が極強の安定多収品種!!

耐倒伏性に優れた早熟な85日!!

ニューデント85日：リッチモンド

リッチモンドは昨年も早熟で安定した収量と耐倒伏性が好評でした。2004年と2005年の当社の試験では他社85日AとBに倒伏が多発していますが、リッチモンドの倒伏は極僅かで、このクラスで最も優れた耐倒伏性を示しています(図1)。この耐倒伏性は着雌穂高が低い安定した草姿と支根を中心に発達した根張りによるもので、2005年は7月下旬の台風により他社品種に倒伏が多発していますが、リッチモンドは初期の根張りも良好で、倒伏に優れているのがわかります。

当社のすす紋病接種試験の成績を図2に示しまし



たがりッチモンドはシンシア90に準じて強く極強レベルで、十勝の激発地帯にも充分耐えうる抵抗性を示しています（図2）。

リッチモンドは十勝地方，網走，北見，道北地方に適し，倒伏やすす紋病，根腐病が問題になる地帯に特にお勧めできる品種です。

冷涼年に強い早熟な90日!!

ネオデント・シンシア90

ネオデントシリーズのシンシア90は2004年の台風の下での耐倒伏性が特に評価され，北海道優良品種になりました。表1に2004年の当社の試験と道内各試験場および現地試験の昨年の倒伏と折損の合計値を示しましたが，他社90日AやBに比べ各地で倒伏が少なく，このクラスで最も優れた耐倒伏性を示しています。また耐病性も極強レベルで十勝の激発地帯を中心に好評です（図2）。

シンシア90は北海道在来種を利用しているため，枯上がりが早く，乾物率が高いのが特徴的で，十勝の条件の悪い地帯でも実入りが良好で好評です。公的委託試験の3カ年のTDN収量は北見農試を除く各地で他社82日並かやや多収で，他社90日と比べても良好な成績を示しています。

道央・道南地方はこの2品種で決まり!!

耐倒伏性が極強でますます好評!!

ニューデント100日：LG3457

ニューデント105日：LG2533

道央・道南地方でも耐倒伏性品種が好評です。2005年の台風14号により長沼町にある当社の北海道研究農場では100日と105日クラスの他社品種に倒伏が多発しましたが，LG3457は0%で倒伏の発生

表1 シンシア90の耐倒伏性（2004）

場所	当社試験地		公的委託試験				
	芽室町	土幌町	十勝農試	北見農試	上川農試	鹿追町	遠軽町
シンシア90	4.2	4.2	2.0	1.4	0.0	0.6	28.0
他社90日A	19.2	12.5	10.3	28.7	0.0	1.2	62.5
他社90日B	72.5	21.7	16.3	19.9	6.5	7.8	53.0

※数字は倒伏，折損の合計値（%）

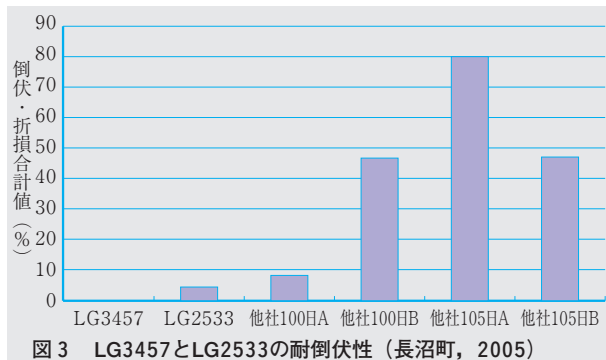


写真 早熟で実入りの良いシンシア90の雌穂

がなく，LG2533も5%のみで，極強レベルの耐倒伏性を示しました（図3）。特に100日のLG3457は他社品種に比べ稈長が高く，茎葉ボリュームが豊富で他社100日Aと比べてTDN収量で長沼町：106%，八雲町：108%と多収で，105日クラスの品種を含めて最多収でした。

LG3457は収量性と耐倒伏性が良好ですが，すす紋病やごま葉枯病が激発する地帯や子実多収タイプの高カロリーサイレージをお望みの方は105日のLG2533をお勧めします。

◎限界地帯や道東地方の小麦の前作に最適!!

子実多収な極早生品種!!

ニューデント75日：LG3215

ニューデント80日：ANJOU219

75日のLG3215とANJOU219は極早生品種ですが，すす紋病や根腐病に強いのが特徴的です。2005年のすす紋病接種試験ではどちらもリッチモンドに準じて強く，85日のLG3263やLG2265より強い耐病性を示し，従来の75日，80日の極早生クラスの品種に比べて耐病性が改善されているのがわかります（図2）。

どちらも稈長が低く，アップライトリーフの草姿が特徴的ですが，昨年の成績では子実収量は他社80

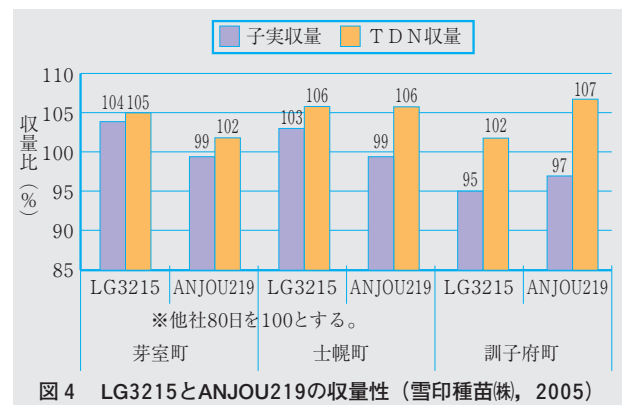


表2 ニューデント85日：LG2265とLG3263の成績（雪印種苗株，2005年）

品種・系統名	初期生育	絹糸抽出	稈長	着雌穂高	熟期	生総重	乾物子実重	比	TDN収量	比	総体乾物率
	9～1		cm	cm		kg/10a	kg/10a	%	kg/10a	%	%
芽室町	6/27		8/29								
ニューデント85日（LG2265）	7.0	5	278	118	黄初～中	6,281	688	91	1,275	102	29.1
ニューデント85日（LG2263）	6.7	5	282	121	黄初～中	6,518	705	93	1,393	111	30.8
他社85日A	6.0	5	285	119	黄初	6,960	754	100	1,252	100	25.3
他社85日B	6.3	5	281	120	黄初	6,486	612	81	1,133	90	24.8
士幌町	6/27		8/28								
ニューデント85日（LG2265）	6.7	5	262	111	黄中～後	5,584	700	95	1,212	100	30.8
ニューデント85日（LG2263）	7.0	6	266	106	黄初	5,656	658	89	1,278	106	32.5
他社85日A	6.3	6	276	112	黄初	6,033	739	100	1,211	100	28.0
他社85日B	6.3	5	278	115	黄初	6,076	726	98	1,249	103	28.9
訓子府町	6/28		9/12								
ニューデント85日（LG2265）	8.3	3	264	121	黄後	5,956	744	103	1,249	104	29.4
ニューデント85日（LG2263）	8.3	4	275	123	黄初～中	6,250	664	92	1,272	106	29.1
他社85日A	7.0	3	276	125	黄初	6,265	725	100	1,197	100	26.7
他社85日B	7.7	2	284	133	黄初	6,697	824	114	1,378	115	28.6

日並かやや低収ですが、TDN収量は多収でした（図4）。限界地帯や道東地方で秋播き小麦の前作で収量を重視される方には特にお勧めできる品種です。

◎十勝地方や網走，北見，上川地方にお勧めの極多収品種!!

耐倒伏性に優れ，多収な85日

ニューデント85日：LG3263

ニューデント85日：LG2265

85日のLG2265はアップライトリーフで見栄えが良く，耐倒伏性を中心にその安定性が好評です。表2に成績を示しましたが，他社85日AやBに比べ初期生育が明らかに良好で，絹糸抽出期がほぼ同じですが，雌穂の登熟が明らかに早く総体乾物率も2～6%高く早熟な品種です。子実収量は他社85日Aに比べ芽室町と士幌町で低収ですが訓子府町ではむしろ多収で，TDN収量は各地で並かやや多収です。

LG3263もLG2265と同様に初期生育が他社85日AとBに比べ明らかに良好で雌穂の登熟も進み乾物率がLG2265よりさらに高いのが特徴的です。子実収量は他社85日Aに比べ低収ですが，稈長が高く茎葉ボリュームが豊富でTDN収量は士幌町で他社85日A並ですが，芽室町と士幌町では最多収でした。

2005年の芽室町では他社85日Aに29%，Bに他社85日Bに84%の倒伏が発生していますが，LG2265は10%，LG3263は41%でした。LG2265は他社品種より優れていますが，LG3263は他社品種並です。このクラスはリッチモンドを含め3品種を販売していますが，よりガサや収量を求める方にはLG2265とLG3263をお勧めします。

収量性抜群の90日

ニューデント90日：ANJOU259

ANJOU259は上川，網走，北見地方や十勝の条件の良い地帯でその多収性が好評です。表3に生育成

表3 ニューデント90日：ANJOU259の成績（雪印種苗株，2005年）

品種・系統名	初期生育	絹糸抽出	稈長	着雌穂高	倒・折損	熟期	生総重	乾物子実重	比	TDN収量	比	総体乾物率
	9～1		cm	cm	%		kg/10a	kg/10a	%	kg/10a	%	%
芽室	8月											
ANJOU259	6.3	6	280	121	23	黄中～後	6,833	758	108	1,422	118	30.0
他社90日A	5.7	8	267	115	92	黄中	6,818	704	100	1,202	100	24.8
他社90日B	6.7	6	266	113	51	黄中～後	6,597	771	110	1,319	110	28.1
士幌	8月											
ANJOU259	4.7	7	257	113	0	黄初	5,801	673	98	1,202	104	29.5
他社90日A	5.3	8	262	109	0	黄初	6,221	684	100	1,153	100	26.1
他社90日B	5.7	6	256	108	0	黄初～中	5,989	713	104	1,197	104	27.9
訓子府	8月											
ANJOU259	6.3	4	273	132	54	黄初～中	6,497	703	92	1,220	96	26.3
他社90日A	6.3	5	261	126	20	黄初	7,236	764	100	1,275	100	24.6
他社90日B	7.0	3	268	126	35	黄初	6,373	722	95	1,143	90	24.6

績を示しましたが、初期生育は他社90日A並ですが絹糸抽出期が1～2日早く、雌穂の登熟もやや進み、総体乾物率が明らかに高く早熟です。子実収量は他社90日Aに比べ土幌町と訓子府町では低収ですが、芽室町では108%と多収でした。稈長、着雌穂高が高く茎葉ボリュームが豊富で、TDN収量は他社90日Aに比べ訓子府町で低収でしたが、芽室町では118%、土幌町では104%と多収でした。

耐倒伏性は訓子府町では他社90日AとBに比べ多発していますが、芽室町では他社90日AとBより少なく、ほぼ同じレベルです(表3)。

90日クラスは倒伏やすす紋病が多発する地帯にはシンシア90を、倒伏とすす紋病の問題がない地帯にはANJOU259をお勧めします。

◎道央・道南地方の条件の悪い地帯や十勝の条件の良い地帯にお勧めの品種!!

早熟なデント種で道東地方でも大好評!!

ニューデント95日：DKC34-20

DKC34-20は雌穂の登熟が早いデント種で昨年は特に道東地方での実入りが良く好評でした。公的委託試験の試験結果を図5に示しましたが、各試験地で他社95日Bに比べ子実収量、TDN収量共に多収で、特に条件の悪い十勝農試や土別町では子実収量がそれぞれ151%、140%と多収でTDN収量も117%、118%と良好な成績を示しています。

また2005年の長沼町では台風14号により他社95日Aに48%と他社95日Bに40%の倒伏が発生していますが、DKC34-20は7%のみの倒伏でした。またすす紋病抵抗性についてもこのクラスで最も優れ極強で、府県で多発する根腐病やごま葉枯病抵抗性も優れ良好です。

DKC34-20は登熟が早い品種で、道央・道南地方の条件の悪い地帯および道東地方の条件の良い地帯で90日を利用している方にもお勧めできる品種です。

◎道央・道南地方の条件の良い地帯にお勧め!!

収量性抜群の110日!! 新登場!!

スノーデント110：LG3520

110日クラスは従来のDK567が好評を得ていましたが、耐倒伏性と収量性に優れるスノーデント110・LG3520を新発売します。110日クラスは道央・道南地方ばかりでなく府県の東北地方や九州の西南暖地の2期作の前作にも利用されるため、耐倒伏性、耐病性に強く適応地域が広い品種が求められます。LG3520はこの条件に合った特性をもつ品種です。表4に2005年の長沼町と八雲町のデータを示しましたが、他社110日に比べ子実収量が長沼町で108%と多収で、TDN収量は両試験地で多収を示しています。稈長が高く大柄な草姿で耐倒伏性が心配ですが、長沼町では他社110日が44%の倒伏が発生しましたが、LG3520は38%と良好な耐倒伏性を示しています。110日クラスはより耐倒伏性に優れるニューデント110日(LG3458)も販売していますが、病気が多発する地帯やよりガサを求める方にはLG3520をお勧めします。

紹介した販売品種以外に今年も85日、90日の試作品種を若干量、用意しています。ご興味のある方は最寄りの営業所まで連絡ください。

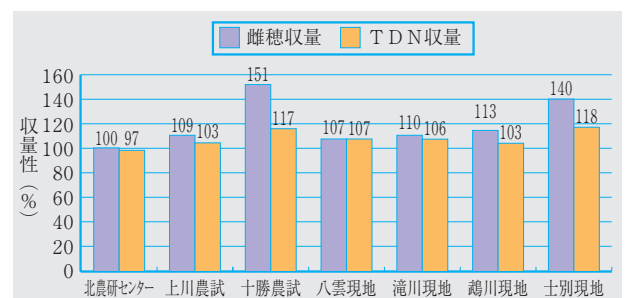


図5 DKC34-20の多収性 (公的委託試験, 2005)

表4 スノーデント110・LG3520の成績 (雪印種苗株, 2005年)

品種・系統名	初期生育		稈長 cm	着雌穂高 cm	倒・折損 %	熟期	生総重 kg/10a	乾物子実重 kg/10a	比 %	TDN収量 kg/10a	比 %	総体乾物率 %
	9~1	8月										
長沼町		8月		8/14								
ニューデント110日(LG3458)	5.7	7	250	118	1	黄中~後	6,241	909	111	1,424	109	31.9
スノーデント110(LG3520)	5.7	8	263	126	38	黄後	7,188	887	108	1,393	107	27.1
他社110日	4.7	10	236	112	44	黄中~後	7,016	819	100	1,304	100	25.9
八雲町	7/1	8月			10/4							
ニューデント110日(LG3458)	6.0	18	265	114	0	黄初	5,729	737	97	1,241	93	30.5
スノーデント110(LG3520)	5.3	19	288	120	0	黄初	6,944	754	99	1,370	103	28.0
他社110日	5.0	20	272	123	0	黄初	6,770	758	100	1,333	100	27.7